

甲南大学アセスメントプランマトリックス<修士課程・博士後期課程>

分野		I 学生受入れの方針 (AP) 入学試験	II 教育課程編成・実施の方針 (CP) 教育・研究	III 修了認定・学位授与の方針 (DP) 学修 (研究) 成果
自己点検・評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ APに沿った入試が実施できているか</li> <li>・ APに掲げる能力が入学後に発揮できているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育方針に沿って編成・実施されているか</li> <li>・ 学生がCPに沿った能力を身に付けられているか</li> <li>・ 第三者の視点が適切に取入れられているか</li> <li>・ 学生が適切に教育・研究を進めているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生がDPに沿った能力を身に付けられたか</li> <li>・ 第三者の視点が適切に取入れられているか</li> <li>・ 学生が卒業後の進路を得られているか</li> </ul>
評価指標	A マクロレベル (大学全体レベル)	入学試験結果 入学試験科目・内容	成績分布<修士課程のみ> 修得単位数 三大学相互評価結果 (教育の専門的見地) 地域社会からの評価・意見 在籍状況 (退学率)	論文 (修士、博士)・研究成果物<研究成果物は修士課程のみ> 学位授与数 成績分布<修士課程のみ> 教学アドバイザー・ボードの評価・意見 学会等受賞実績 就職率・進学率<進学率は修士課程のみ>
	B ミドルレベル (学位プログラムレベル)	入学試験結果 研究計画書<対象専攻の修士課程のみ> [追跡]	成績分布<修士課程のみ> 修得単位数 在籍状況 (退学率) TA担当時間数<修士課程のみ> 学会参加数・学会発表数 論文投稿数・論文掲載数	論文 (修士、博士)・研究成果物<研究成果物は修士課程のみ> 学位授与数 成績分布<修士課程のみ> 学会等受賞実績 就職率・進学率<進学率は修士課程のみ>
	C ミクロレベル (授業科目レベル)		成績分布<修士課程のみ> 出席状況	

甲南大学アセスメントプラン 運用総括表<修士課程・博士後期課程>

(別表2)  
令和8年4月9日

分野	自己点検・評価の観点	自己点検・評価の評価指標	レベル	実施組織	対象学年等	周期	自己点検・評価の基準	自己点検・評価活動及び改善活動における活用方法	
I 学生受入れの学方試験 (AP)	・APに沿った入試が実施できているか ・APに据える能力が入学後に発揮できているか	I-1-A	入学試験結果	マクロ	執行部、アドミッションセンター	入学前	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	課程ごとの入試制度別志願者数・合格者数・入学者数の状況及び実施組織の点検・評価結果から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		I-1-B	入学試験結果	ミドル	各研究科	入学前	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	課程ごとの実施組織における入試制度別志願者数・合格者数・入学者数の状況から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、各々の入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
		I-2-A	入学試験科目・内容	マクロ	執行部、アドミッションセンター	入学前	年1回	APの適合性、 入学者選抜機能の妥当性	課程ごとの各入学試験科目・内容における得点、合否判定結果の状況及び実施組織の点検・評価結果から、入学試験問題のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、全学的な入試方針、入学試験科目・内容の見直しに活用する。
		I-3-B	研究計画書<対象専攻の修士課程のみ> [追跡]	ミドル	各研究科	修士1年次	年1回	入学者の研究計画書の状況	修士課程の実施組織における入試制度別入学者の修士1年次及び博士2年次修了時点の研究計画書の進捗状況から、各入試制度のAP適合性、入学者選抜機能の妥当性を点検・評価し、入試制度、判定基準等の見直しに活用する。
II 教育課程編成・実施の方針 (CP)	・教育方針に沿って編成・実施されているか ・学生がCPに沿った能力を身に付けられているか ・第三者の視点が適切に取入れられているか ・学生が適切に教育・研究を進めているか	II-1-A	成績分布<修士課程のみ>	マクロ	執行部、教務部、学長室	各年次	年1回	CPの適合性	修士課程の在学生の年次別成績分布の状況及び実施組織の点検・評価結果から、CPの適合性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		II-1-B	成績分布<修士課程のみ>	ミドル	各研究科	各年次	年1回	CPの適合性、カリキュラム編成の 適切性、成績判定の妥当性	修士課程の実施組織における在学生の年次別成績分布の状況及び各科目の点検・評価結果から、CPの適合性、カリキュラム編成の適切性、成績判定の妥当性等を点検・評価し、各々のカリキュラム、到達目標、カリキュラムマップ、ツリー、成績判定基準等の見直しに活用する。
		II-1-C	成績分布<修士課程のみ>	ミクロ	各研究科各所属教員	各年次	年1回	シラバス・成績判定の妥当性	修士課程の実施組織開講科目における成績分布の状況から、成績判定の適切性を点検・評価し、シラバス、成績判定基準・方法等の見直しに活用する。
		II-2-A	修得単位数	マクロ	執行部、教務部	各年次	年1回	単位修得状況の適切性	課程ごとの在学生の年次別修得単位数及び実施組織の点検・評価結果から、単位修得状況の適切性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		II-2-B	修得単位数	ミドル	各研究科	各年次	年1回	単位修得状況の適切性	課程ごとの実施組織における在学生の年次別修得単位数から、単位修得状況の適切性を点検・評価し、各々のカリキュラム、成績判定基準の見直しに活用する。
		II-3-A	三大学相互評価結果 (教育の専門的見地)	マクロ	執行部	-	7年3回	教育の質保証の状況	成城大学・武蔵大学との三大学相互評価結果から、課程ごとの教育の質保証の状況を点検・評価し、教育の質向上に関する仕組み、取組の見直しを活用する。
		II-4-A	地域社会からの評価・意見	マクロ	執行部	-	年1回	社会貢献の状況	地域社会からの評価・意見から、課程ごとの大学の社会貢献の状況を点検・評価し、教育、研究、社会連携に関する方針・施策の見直しに活用する。
		II-5-A	在籍状況 (退学率)	マクロ	執行部、教務部	各年次	年1回	退学率の適切性	課程ごとの年次別退学率の状況及び実施組織の点検・評価結果から、退学率の適切性を点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		II-5-B	在籍状況 (退学率)	ミドル	各研究科	各年次	年1回	退学率の適切性	課程ごとの実施組織における年次別退学率の状況から、退学率の適切性を点検・評価し、各々のカリキュラム、履修指導・支援方法等の見直しに活用する。
		II-6-C	出席状況	ミクロ	各研究科各所属教員	各年次	年1回	授業の内容・レベル等の適切性	課程ごとの各授業科目の出席状況から、授業の内容・レベル等の適切性を点検・評価し、シラバスの見直しに活用する。
		II-7-B	TA担当時間数<修士課程のみ>	ミドル	各研究科	各年次	年1回	教育・研究の活性化度	実施組織における修士課程の年次別TA担当時間数から、教育・研究の活性化度を点検・評価し、各々のカリキュラム、履修指導・支援方法等の見直しに活用する。
		II-8-B	学会参加数・学会発表数	ミドル	各研究科	各年次	年1回	教育・研究の活性化度	課程ごとの実施組織における年次別学会参加数・学会発表数から、教育・研究の活性化度を点検・評価し、各々のカリキュラム、履修指導・支援方法等の見直しに活用する。
II-9-B	論文投稿数・論文掲載数	ミドル	各研究科	各年次	年1回	教育・研究の活性化度	課程ごとの実施組織における年次別論文投稿数・論文掲載数から、教育・研究の活性化度を点検・評価し、各々のカリキュラム、履修指導・支援方法等の見直しに活用する。		
III 修了認定・学修位 (研究) の方針 (DP)	・学生がDPに沿った能力を身に付けられたか ・第三者の視点が適切に取入れられているか ・学生が卒業後の進路を得られているか	III-1-A	論文 (修士、博士) ・研究成果物 <研究成果物は修士課程のみ>	マクロ	執行部、教務部、学長室	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	DPの適合性、 学修の達成度	課程ごとの修了生の論文 (修士・博士) 及び研究成果物 (修士課程のみ) の審査結果及び実施組織の点検・評価結果から、DPの適合性及び学修の達成度の状況を点検・評価し、教育に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		III-1-B	論文 (修士、博士) ・研究成果物 <研究成果物は修士課程のみ>	ミドル	各研究科	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	DPの適合性、 学修の達成度	課程ごとの実施組織における修了生の論文 (修士・博士) 及び研究成果物 (修士課程のみ) の審査結果から、DPの適合性及び学修の達成度の状況を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		III-2-A	学位授与数	マクロ	執行部、教務部	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	学修の達成度	課程ごとの在籍者数に対する学位授与数の割合及び実施組織の点検・評価結果から、学修の達成度の状況を点検・評価し、教育に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		III-2-B	学位授与数	ミドル	各研究科	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	学修の達成度	課程ごとの実施組織における在籍者数に対する学位授与数の割合から、学修の達成度の状況を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		III-3-A	成績分布<修士課程のみ>	マクロ	執行部、教務部	修了時 (修士2年次)	年1回	学修 (研究) 成果の質的レベル	修士課程の修了生の成績分布の状況及び実施組織の点検・評価結果から、学修 (研究) 成果の質的レベルを点検・評価し、教育に関する各種方針の見直しに活用する。
		III-3-B	成績分布<修士課程のみ>	ミドル	各研究科	修了時 (修士2年次)	年1回	学修 (研究) 成果の質的レベル	修士課程の実施組織における修了生の成績分布の状況から、学修 (研究) 成果の質的レベルを点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		III-4-A	教学アドバイザー・ボードの評価・意見	マクロ	執行部	-	年2回	教育基本方針・DPの適合性	教学アドバイザー・ボードの評価・意見から、課程ごとの本学の教育活動に関する教育基本方針・DPの適合性を点検・評価し、教育活動に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		III-5-A	学会等受賞実績	マクロ	執行部、教務部	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	研究成果の発揮度	課程ごとの修了生の学会等受賞実績及び実施組織の点検・評価結果から、学修成果の発揮度を点検・評価し、教育に関する各種方針・施策の見直しに活用する。
		III-5-B	学会等受賞実績	ミドル	各研究科	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	研究成果の発揮度	課程ごとの実施組織における修了生の学会等受賞実績から、学修成果の発揮度を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。
		III-6-A	就職率・進学率 <進学率は修士課程のみ>	マクロ	執行部、キャリアセンター	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	修了後の進路状況・学修成果の 発揮度	課程ごとの修了生の就職率・進学率 (進学率は修士課程のみ) の状況及び実施組織の点検・評価結果から、修了後の進路状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、教育、キャリア教育・支援に関する方針・施策の見直しに活用する。
III-6-B	就職率・進学率 <進学率は修士課程のみ>	ミドル	各研究科	修了時 (修士2年次 博士3年次)	年1回	修了後の進路状況・学修成果の 発揮度	課程ごとの実施組織における修了生の就職率・進学率 (進学率は修士課程のみ) の状況から、修了後の進路状況及び学修成果の発揮度を点検・評価し、各々のカリキュラム、教育内容の見直しに活用する。		